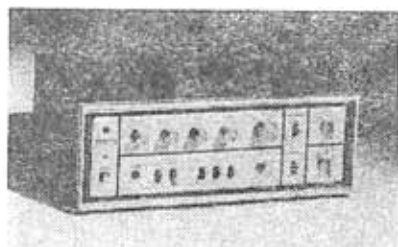


新製品紹介

1. ソリッドステート・プリ・メインアンプ 《テクニクス SU-3600》



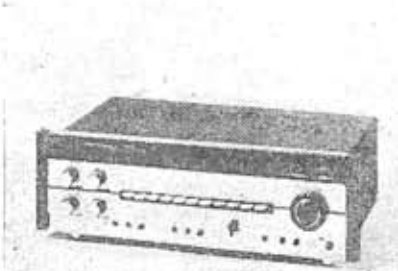
テクニクス 50A と同じ全段直結差動増幅 OCL 回路、低雑音 PNP トランジスタ、テクニクス型トーンコントロール回路を生かし、8Ω 定格出力を 50W (片 ch) にパワー・アップした、コストパフォーマンスの高いアンプである。

ボリュームを絞って小音量で音楽を楽しむ場合に低音域の“やせ”を防ぐラウドネスコントロール兼用のボリュームを採用、スムーズなアンプ操作を可能にするオーディオ・シューティング・スイッチ付。

マルチチャンネル・システムや 3 ディメンション方式で利用するときのために、プリアンプとメインアンプはそれぞれ独立し、外部ピン端子で接続されている。

¥75,000

2. ソリッド・ステートインテグレートッド・アンプ 《ラックス SQ-202》



プリアンプ部はイコライザー段に

3 段直結の NF 型でフォノ-1 入力とフォノ-2 入力それぞれに独立しており、また MIC のヘッドアンプおよび AUX 入力もエミター・フォロワー・アンプが入っているため、入力セレクターはその出力側で行なわれているため、入力端子付近での SN 比、切換ショック、回路ロスが改善されている。

トーン・コントロール回路、フィルター回路は OFF にするとイコライザー出力が直接メイン部に入る。

トーン・コントロール回路は高・低各 3 ポイントずつ切換えられる。

メイン部は差動アンプと準コンプリメンタリー SEPP 方式で 2 電源 OCL となっている。

保護回路は電流制限方式で演奏を継続しながら動作する。

【おもな特性】

——プリ部——

- ・最大出力電圧；5V
- ・最大許容入力；フォノ 180mV
- ・SN 比；フォノ 66dB
- ・入力感度；フォノ 1.2mV
- ・トーン・コントロール
BASS 600, 300, 150Hz
TREBLE 1.5, 3, 6kHz
- ・フィルター；High 5, 9kHz
(-12dB/oct), Low 30, 90Hz
(-12dB/oct)

——メイン部——

- ・実効出力；70W+70W (8Ω 両CH 同時動作)
- ・全高調波歪；0.1% 以内 (8Ω)
- ・混変調歪；0.2% 以内 (8Ω)
- ・出力帯域幅；5Hz~50000Hz
-3dB
- ・DF 周波数特性；10~30000Hz
30以上 (8Ω)
- ・入力感度；700mV (50W 8Ω)

・価格；¥14,1000

3. ソリッド・ステート AM/FM ステレオチューナー 《ラックス WL-212》



5 局のプリセット・チューニングができ、チューニングは従来のワールドストレングス・メーターとランプ表示によるセンター・チューニングで的確な同調点が得られる。

IF 段は IC 3 個とクリスタル・フィルターにより、高性能化している。出力段はエミッター・フォロアでのライン出力にコンプリメンタリー全段直結のヘッドホン用パワーアンプが内蔵されている。

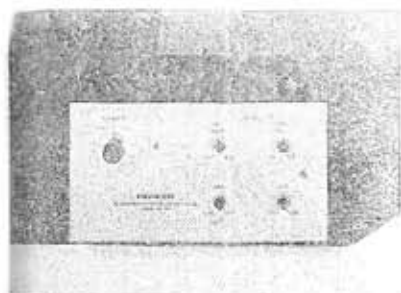
AM 部も内蔵されておりスモークダイヤル面に受信時にスケールが現われる。

【おもな特性】

- ・使用 Tr；IC 5 コ, Tr 42石, FET 4 石。
- ・実用感度；FM 1.7μV/84MHz
- ・イメージ比；75dB (FM)
- ・IF 妨害除去比；75dB (FM)
- ・2 信号選択度；50dB (FM)
- ・ステレオ・セパレーション
38dB (400Hz)
- ・出力；1.0V 1kΩ 以下
- ・電源；50, 60Hz 100V, 30W
- ・価格；¥10,5000

新製品紹介

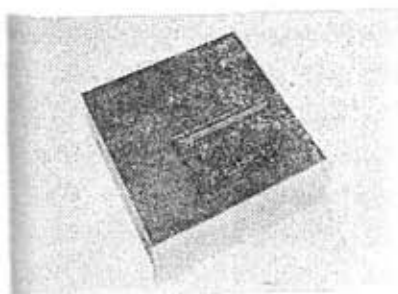
4. エレクトロニクス・クロスオーバー・ネットワーク 〈パイオニア SF-50〉



パイオニア UA シリーズのひとつとして発売されるこのSF-50は、L-Cネットワークなみの予算で入手でき、同種ユニバーサル型に対し、必要最小限の機能に絞って高級機なみのグレードを発揮する高品位のマルチアンプシステムを手軽に実現することができる。

〈規格〉チャンネル数；2チャンネル (Low-High)、3チャンネル (Low-Mid-High)。定格出力電圧；2V (各チャンネル)。入力インピーダンス；100k Ω (1kHz)。出力インピーダンス；High 200k Ω 以下 (20kHz)、Mid 1.6k Ω 以下 (1kHz)、Low 1.6k Ω 以下 (70kHz)。負荷インピーダンス；15k Ω 以下 (各チャンネル)。SN組；75dB ㊦10,900

5. デバイディング・アンプ 〈ONKYO INTEGRA 624〉



マルチ・チャンネル用ディバイディングネットワークとメインアンプを組み合わせた新しいタイプの製品。メインアンプ部はINTEGRA 701直系の全段直結・差動増幅回路を採用

し、デバイダー部はオンキョー独自のダイナミック・デバイディング方式をとっている。

本機はブリメインアンプと組みあわせることによって、簡単に2ウェイのマルチ・チャンネル・システムができるが、さらに本機を買い増し、従続接続によって3ウェイ、4ウェイ……と順次12チャンネルまで「マルチ・ステップアップ」してゆくことができる。

6. 1モーター3ヘッド・テープデッキ 〈テクニクス RS-736U〉



安定性、耐久性、動作特性において1モーター方式の決定版といわれるゴールドメカニズムをさらにグレードアップし、メカニズムを基本にしたテープデッキ。

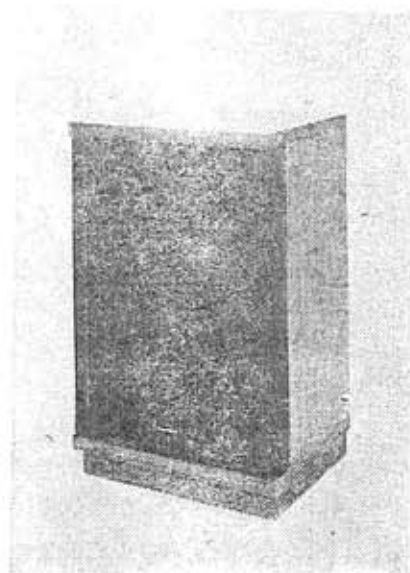
録音用と再生用には、ギャップ精度、磁気特性、耐磨耗性などにすぐれたHPF(ホット・プレス・フェライト)ヘッドを採用している。

モーターは4極ヒステリシス・シンクロナス形、これをセンターフロート支持方式で使っている。このため動作音がきわめて低く、フラッターも少ない。

また、マイク入力とライン入力の

ミキシング、ピックアップからの直接録音、エコー録音、重ね録音など多彩な録音機能も大きな特徴になっている。

7. フロアー・タイプ大型スピーカー・システム 〈パイオニア CS-770〉



コーン紙からキャビネットまで、一貫生産を行うパイオニアの野心作。30cm 4ウェイの、マルチアンプ用接続端子付大型システム特有の音の幅、厚み、迫力は、ブックシェルフ・タイプとは違ったスケールの大きな包容力を感じさせる。

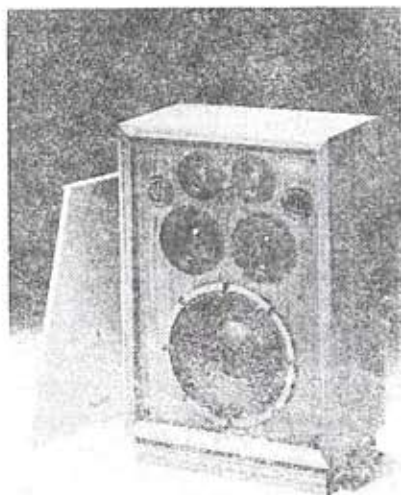
コーン紙にはパイオニア独自のFB方式によって製造した新しいクリア・コーンを採用。分離のよい低音、鮮明な中・高音など、音楽性豊かな音づくりに成功している。

〈規格〉インピーダンス；8 Ω 。再生周波数帯域；30~20000Hz。出力音圧レベル；97dB/W (1mにおいて)。最大入力；80W。

㊦52,000

8. ドーム型スピーカーによるスピーカーシステム 〈テクニクス SB-700〉

新製品紹介



ドーム型スピーカーは振動形態が単純であり、指向性、歪特性にすぐれている点で最近注目されている。

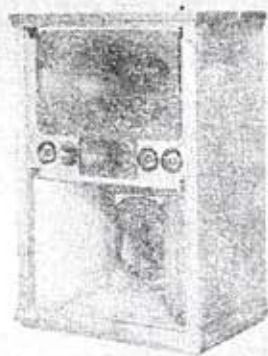
SB-700 はドームスピーカー、ドームツイーターを各本ずつ備えた、マニア向けのスピーカー・システムである。

30cm ウーハーのエッジは、新材料の発泡ウレタンを使用するとともに、エッジのアルを凸状に使用し、極めてリニアリティに富んだ、ハイコンプライアンス設計になっている。

したがって、大振幅の入力に対しても余裕のある動作が可能となり、直線性の改善、歪の低減、耐入力の上昇に成功している。 ¥49,800

9. 4ウェイ・オールホーン・スピーカー・システム

〈YL-17 (PANTHEON)〉



ホーン・スピーカーに優れた技術水準を示す YL 音響の最高級新製品。

〈規格〉 低音；強力型ウーハー 331-A、ショートホーン付。中音；5500-H ドライバー、新型ダ円ホーン EL-250 付。高音；3500-H ドライバー、新型ダ円ホーン EL-1000 付。超高音；1800-H 新型インテグレートッド型ホーン付。クロスオーバー周波数；450Hz, 1500Hz, 6000Hz。インピーダンス；8Ω。最大入力；50W。 ¥178,000



10. レザータッチのステレオ・ヘッドホン 〈バイオニア SE-45〉

特殊マイラー振動板を採用した大口径7cmスピーカーにより、各音域ともダイナミックで伸びのある音を再生。特に従来のヘッドホンにはない豊かな低音を得ている。耳もとで簡単に調整できるボリューム・コントロール、1コのジャックから2台のヘッドホンが使用できる Y 型コード、ヘッドバンド調整ツマミなど、使いやすく、ゆきとどいたデザインが特徴になっている。 ¥5,500

なお姉妹品の SE-25 は ¥3,500

11. 大出力シングル用 Hi-Fi 出力トランス 〈タンゴ U-808〉

平田電機がシングルアンプの普及のために新しく発売したアウトプット・トランス。多層サンドイッチ巻線方式により安定した NFB がかけやすくなっており、低域特性の歪率特性もすぐれている。2次側の出力端子を選ぶことにより、1次インピーダンスが決めるので、出力管

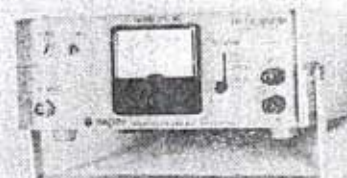


を幅広くえらぶことができる。

¥2,580

12. FM キャリブレーター

〈目黒電波測器 MMC-330〉



FM 信号発生器の周波数偏移量の校正、チェックを1台で高精度におこなうことができる。小型・軽量に設計されているので、サービス・ベンチ、サービスマン用として最適。

〈規格〉 測定周波数；5~400MHz の範囲内において、5MHz の整数倍 ±455kHz。周波数偏移量の校正点；7.5, 22.5, 75kHz の3点。周波数偏移量誤差；±2% 以内入力レベル範囲；100~30dB (0.1V~30μV)。入力インピーダンス；約10kΩ。分解能；3kHz 以下。 ¥87,000

13. ロータリー・スケール式テスター 〈サンワ R-1000CB〉

テスターは手軽で多用途な測定器として普及しているが、目盛の読みとりの複雑さに不便を感じる人も少なくない。この R-1000CB は回転スケールに各レンジ専用の目盛があり、ロータリー・スイッチと連動して、必要なレンジの目盛だけ表面に現わ

新製品紹介



れるようになっている。

回路保護装置つきで、特にメーターにはスパン・バンドメーターを用い、半導体の自動保護回路で重に保護されている。 ¥20,950

14. 故障検出用ノンフロスト急冷剤 《ハヤト産業 QR-260》

電子部品の温度による経時変化不良品を検出するには、その部品を一時的に急冷してみることが考えられる。QR-260は、温度降下の妨げになる霜がつきにくいという特徴があるので、わずか20秒で -45°C まで部品の温度を急降下させることがで



きる。絶縁低下の心配はなく、金属にさびを発生させることもない。

15. MS ステレオ・ラジオ2機種

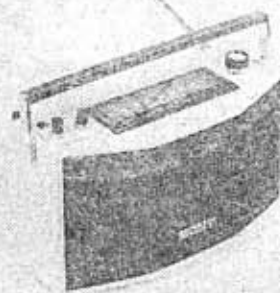
《ソニー MS-3300 型、
MS-3400 型》

ソニーが本年2月に開発した「MS (マトリクス・サウンド) ステレオ方式」を採用した新製品。1コのスピーカー・ボックスに3コのスピーカーを近接させて配置し、それぞれのスピーカーを別個に働かせ、ボックスからでる音に立体音響幅射の指向性を持たせてあるので、音は左右、中央に分離伝播する。2機種ともス

テレレンジ調整つまみがついているので、放送内容に応じて音の広がり調整できる。発売日6月21日。

MS-3300 (写真上) ¥17,800

MS-3400 ¥19,800



●今月号でとりあげた新製品の問い合わせ先

松下電器産業(株)^{1,6,8}

大阪府門真市大字門真1006

TEL 06-991-1121

東京支店 TEL 03-453-3111

ラックスKK^{2,3}

大阪市西成区長橋通2-22

TEL 06-632-0031

東京 TEL 03-833-7691

バイオニア(株)宣伝部^{4,7,10}

東京都大田区大森西4-15-5

TEL 03-763-2111

大阪音響(株)⁵

大阪市旭区大宮西之町5-32

TEL 06-951-5631

東京 TEL 03-293-0191

(株)YL音響研究所⁹

横浜市旭区東希望ヶ丘105

TEL 045-391-5061

平田電機製作所¹¹

東京都荒川区西尾久1-24-7

TEL 03-893-7726

目黒電波測器(株)¹²

東京都目黒区中央町2-1-5

TEL 03-711-7191

三和電気計器(株)¹³

東京都千代田区外神田2-4-4(電波ビル) TEL 03-253-4871

ハヤト産業(株)¹⁴

東京都豊島区南大塚3-40-1

TEL 03-984-7791

ソニー(株)ラジオ部¹⁵

東京都品川区北品川6-7-35

TEL 03-442-5111